

令和2年度 土木工事資材等単価表

令和2年 4月(設定)

令和2年 7月(改定)

令和2年 8月(臨時改定)

相模原市都市建設局

※8月(臨時改定)の掲載単価については、物価資料の改定月は6月号および春号の単価を採用しています。

1. はじめに

この「土木工事資材等単価表」(以下、「単価表」という。)は、相模原市都市建設局が発注する土木工事の積算に用いる資材単価等の一覧表です。

2. 単価表について

本単価表は、次の単価によって構成されています。

(1)「月刊建設物価」、「web建設物価」、「季刊土木コスト情報」((一財)建設物価調査会刊行)及び「月刊積算資料」、「積算資料(別冊もしくは電子版)」、「季刊土木施工単価」((一財)経済調査会刊行)(以下、「物価資料」という。)から設定した単価

(2)市の指定単価

物価資料から設定した単価は、(一財)建設物価調査会及び(一財)経済調査会が著作権を保有しているため、単価は掲載していません(「グレー網掛」表示)。物価資料を参照してください。また、単価が「-」と表示されている資材は、価格調査時点の取引事例が少なく単価の設定が行えなかった資材です。

なお、本単価表に掲載されている資材単価は、個別に指定があるものを除き、現着単価になります。

3. 物価資料から設定した単価について

(1)設定又は改定する月の単価は、その前月号又は前季号の単価を採用しています。(単価コードが「U」で始まるものを除く。)

(採用例)

4月設定	→ 「物価資料」	① 3月号	② 冬号	③ 冬号
7月改定	→ 「物価資料」	① 6月号	② 春号	③ 春号
8月臨時改定	→ 「物価資料」	① 6月号	② 春号	③ 春号
10月改定	→ 「物価資料」	① 9月号	② 夏号	③ 夏号
1月改定	→ 「物価資料」	① 12月号	② 秋号	③ 秋号

- ① 「月刊建設物価 (web含む)」及び「月刊積算資料 (別冊もしくは電子版含む)」
- ② 「土木コスト情報」及び「土木施工単価」
- ③ 「デジタル土木コスト情報」及び「土木施工単価 (web版)」

(2)それぞれの物価資料における適用都市の優先順位は、【各地区 → 横浜 → 神奈川 → 東京 → 関東 → 全国】です。

(3)両方の物価資料に単価の掲載があるものは、平均値を採用しています。また、一方の物価資料のみ単価の掲載があるものは、その単価を採用しています。

(4)設定単価の端数処理は原則、次のとおり行っています。

1)両方の物価資料の掲載単価を平均した場合における設定単価は、物価資料の有効桁数により端数処理しており、有効桁数未満かつ1円未満は切捨てています。

2)両方の物価資料において掲載単価の有効桁数が異なる場合は、有効桁数が多い方を設定単価の有効桁数として採用しています。ただし、両方の物価資料における掲載単価の有効桁数がいずれも3桁未満であったときは、設定単価の有効桁数を3桁としています。

(例1)A材料における単価の設定

建設物価掲載単価	92.0円(有効2桁)	A材料設定単価	$(92+90.5) \div 2 = 91.25 \approx 91$ 円(有効3桁未満かつ1円未満切捨て)
積算資料掲載単価	90.5円(有効3桁)		

(例2)B材料における単価の設定

建設物価掲載単価	9,100円(有効2桁)	B材料設定単価	$(9,100+9,000) \div 2 = 9,050$ 円(有効3桁)
積算資料掲載単価	9,000円(有効1桁)		

3)一方の物価資料のみ単価の掲載がある場合における設定単価は、有効桁数による端数処理は行わずに1円未満を切捨てています。

4) 物価資料の掲載単価から単位換算又は補正を行う場合若しくは複数の掲載単価を組み合わせる場合における設定単価は、1)から3)によらず次のとおり行っています。

- ① 物価資料の掲載単価から単位換算又は補正を行った後の単価若しくは複数の掲載単価を組み合わせた単価(以下、「補正後単価」という。)は、小数第2位(小数第3位以下切捨て)まで算出しています。
- ② 両方の物価資料に単価の掲載があるものは、両方の補正後単価(又は一方の補正後単価及び一方の掲載単価)の平均値を採用しています。この場合の設定単価は物価資料の有効桁数により端数処理しており、有効桁数未満かつ1円未満は切捨てています。
- ③ 両方の物価資料の各掲載単価において有効桁数が異なる場合は、物価資料の各掲載単価のうち最も多い有効桁数を設定単価の有効桁数として採用しています。ただし、物価資料の各掲載単価のうち最も多い有効桁数が3桁未満であったときは、設定単価の有効桁数を3桁としています。

<p>(例3) C材料における単価の設定(単価換算を行う場合)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">建設物価掲載単価</td> <td>1,050円(有効3桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">補正後単価</td> <td>$1,050 \div 3.66 = 286.88$円(小数第3位以下切捨て)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">積算資料掲載単価</td> <td>1,040円(有効3桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">補正後単価</td> <td>$1,040 \div 3.66 = 284.15$円(小数第3位以下切捨て)</td> <td></td> </tr> </table>	建設物価掲載単価	1,050円(有効3桁)		補正後単価	$1,050 \div 3.66 = 286.88$ 円(小数第3位以下切捨て)		積算資料掲載単価	1,040円(有効3桁)		補正後単価	$1,040 \div 3.66 = 284.15$ 円(小数第3位以下切捨て)		<p>C材料設定単価 $(286.88 + 284.15) \div 2 = 285$円(有効3桁未満かつ1円未満切捨て)</p>
建設物価掲載単価	1,050円(有効3桁)												
補正後単価	$1,050 \div 3.66 = 286.88$ 円(小数第3位以下切捨て)												
積算資料掲載単価	1,040円(有効3桁)												
補正後単価	$1,040 \div 3.66 = 284.15$ 円(小数第3位以下切捨て)												
<p>(例4) D賃料における単価の設定(長期割引補正を行う場合)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">建設物価掲載単価</td> <td>70,500円(有効3桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">補正後単価</td> <td>$70,500 \times 0.65 = 45,825$円</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">積算資料掲載単価</td> <td>72,500円(有効3桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">補正後単価</td> <td>$72,500 \times 0.65 = 47,125$円</td> <td></td> </tr> </table>	建設物価掲載単価	70,500円(有効3桁)		補正後単価	$70,500 \times 0.65 = 45,825$ 円		積算資料掲載単価	72,500円(有効3桁)		補正後単価	$72,500 \times 0.65 = 47,125$ 円		<p>D賃料設定単価 $(45,825 + 47,125) \div 2 = 46,400$円(有効3桁未満切捨て)</p>
建設物価掲載単価	70,500円(有効3桁)												
補正後単価	$70,500 \times 0.65 = 45,825$ 円												
積算資料掲載単価	72,500円(有効3桁)												
補正後単価	$72,500 \times 0.65 = 47,125$ 円												
<p>(例5) E材料における単価の設定(複数の単価を組み合わせる場合)</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">建設物価掲載単価</td> <td>7,800円(本体、付属品を含む単価、有効2桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">積算資料掲載単価</td> <td>6,800円(本体、有効3桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,350円(付属品、有効3桁)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 20px;">積算資料補正後単価</td> <td>$6,800 + 1,350 = 8,150$円</td> <td></td> </tr> </table>	建設物価掲載単価	7,800円(本体、付属品を含む単価、有効2桁)		積算資料掲載単価	6,800円(本体、有効3桁)			1,350円(付属品、有効3桁)		積算資料補正後単価	$6,800 + 1,350 = 8,150$ 円		<p>E材料設定単価 $(7,800 + 8,150) \div 2 = 7,970$円(有効3桁未満切捨て)</p>
建設物価掲載単価	7,800円(本体、付属品を含む単価、有効2桁)												
積算資料掲載単価	6,800円(本体、有効3桁)												
	1,350円(付属品、有効3桁)												
積算資料補正後単価	$6,800 + 1,350 = 8,150$ 円												

④ 一方の物価資料のみ単価の掲載があるものは、その補正後単価を採用しています。このときの設定単価は、有効桁数による端数処理は行わずに1円未満を切捨てています。

(5) ロットに応じた単価が設定されている場合には、原則としてロットが最大の単価を採用しています。

(6) 以上によらない特殊な方法により単価設定を行っている場合には、別紙「注意事項」に詳細を掲載しています。

4. 取扱い

(1) この土木工事資材等単価表の一部又は全部を、電子媒体又は印刷物により、第三者に販売、貸与、及び譲渡等することを禁じます。

(2) 当単価表は相模原市ホームページの「土木資材等単価表」において公表しています。

(3) 単価等に訂正または改定があった場合は上記ホームページに掲載します。

5. 地区割について

地区名	対象市町村
相模原	相模原市の緑区の橋本地区及び大沢地区並びに中央区並びに南区 ^{※1}
津久井	相模原市の緑区の城山地区、津久井地区、相模湖地区及び藤野地区 ^{※2}

※1 平成18年3月20日に行われた市町合併以前の相模原市の地域をいう。

※2 平成18年3月20日に行われた市町合併以前の津久井町及び相模湖町並びに平成19年3月11日に行われた市町合併以前の城山町及び藤野町の地域をいう。

目次

項目	資材等名称	ページ	枝数
標準単価	コンクリートブロック積工	1	12
機械損料等	仮設材賃料	1	39
	建設機械賃料	1	7
その他単価	委託業務	1	104
	建設機械損料	3	209
	タイヤ損耗費	5	66
	基本運賃	6	63
	その他	7	31
注意事項	注意事項1		

Table with columns: 項番, 資材名称, 単価コード, 名称, 規格, 単位, 地区名, 出典, 単価(円) (4月, 7月, 8月, 1月), 建設物価(we)および土木コスト情報 (都市, P), 積算資料および土木施工単価 (都市, P), 端数処理有効桁数, 備考, 注意有.

項番	資材名称	単価コード	名称	規格	単位	地区名	出典	単価(円)				建設物価(web)および土木コスト情報		積算資料および土木施工単価		端数処理有効桁数	備考	注 意 有
								4月	7月	8月	1月	都市	P	都市	P			
481	基本運賃	Z006810062	基本運賃	製品長15m超 20kmまで	t	市内共通	指定	7,470	7,470	7,470								注1
482	基本運賃	Z006810063	基本運賃	製品長15m超 30kmまで	t	市内共通	指定	7,990	7,990	7,990								注1
483	基本運賃	Z006810064	基本運賃	製品長15m超 40kmまで	t	市内共通	指定	8,490	8,490	8,490								注1
484	基本運賃	Z006810065	基本運賃	製品長15m超 50kmまで	t	市内共通	指定	9,040	9,040	9,040								注1
485	基本運賃	Z006810066	基本運賃	製品長15m超 60kmまで	t	市内共通	指定	9,590	9,590	9,590								注1
486	基本運賃	Z006810067	基本運賃	製品長15m超 70kmまで	t	市内共通	指定	10,100	10,100	10,100								注1
487	基本運賃	Z006810068	基本運賃	製品長15m超 80kmまで	t	市内共通	指定	10,600	10,600	10,600								注1
488	基本運賃	Z006810069	基本運賃	製品長15m超 90kmまで	t	市内共通	指定	11,100	11,100	11,100								注1
489	基本運賃	Z006810070	基本運賃	製品長15m超 100kmまで	t	市内共通	指定	11,700	11,700	11,700								注1
490	基本運賃	Z006810071	基本運賃	製品長15m超 110kmまで	t	市内共通	指定	12,200	12,200	12,200								注1
491	基本運賃	Z006810072	基本運賃	製品長15m超 120kmまで	t	市内共通	指定	12,700	12,700	12,700								注1
492	基本運賃	Z006810073	基本運賃	製品長15m超 130kmまで	t	市内共通	指定	13,300	13,300	13,300								注1
493	基本運賃	Z006810074	基本運賃	製品長15m超 140kmまで	t	市内共通	指定	13,800	13,800	13,800								注1
494	基本運賃	Z006810075	基本運賃	製品長15m超 150kmまで	t	市内共通	指定	14,400	14,400	14,400								注1
495	基本運賃	Z006810076	基本運賃	製品長15m超 160kmまで	t	市内共通	指定	14,900	14,900	14,900								注1
496	基本運賃	Z006810077	基本運賃	製品長15m超 170kmまで	t	市内共通	指定	15,400	15,400	15,400								注1
497	基本運賃	Z006810078	基本運賃	製品長15m超 180kmまで	t	市内共通	指定	15,800	15,800	15,800								注1
498	基本運賃	Z006810079	基本運賃	製品長15m超 190kmまで	t	市内共通	指定	16,800	16,800	16,800								注1
499	基本運賃	Z006810080	基本運賃	製品長15m超 200kmまで	t	市内共通	指定	17,300	17,300	17,300								注1
500	基本運賃	Z006810081	基本運賃	製品長15m超 200m毎加算額	t	市内共通	指定	1,080	1,080	1,080								注1
501	その他	Z001001001	副資材費(鋼橋製作用)	溶接材料込み	t	市内共通	指定	12,000	12,000	12,000								
502	その他	Z001002001	寸法エキス(鋼橋製作用)	ガダ型式	t	市内共通	指定	1,000	1,000	1,000								
503	その他	Z001002002	寸法エキス(鋼橋製作用)	ボックス型式	t	市内共通	指定	1,600	1,600	1,600								
504	その他	Z001002003	寸法エキス(鋼橋製作用)	トラス・アネ型式	t	市内共通	指定	1,600	1,600	1,600								
505	その他	Z004520001	橋梁用架設工具損料	鋼橋	供用日	市内共通	指定	9,810	9,810	9,830								
506	その他	Z006142003	エッジクフライマー	原板フラスト	m2	市内共通	指定	340	340	340								
507	その他	Z006143003	ジックリップライマー	原板フラスト	m2	市内共通	指定	340	340	340								
508	その他	Z006144001	原板フラスト	原板フラストのみ	m2	市内共通	指定	82	82	82								
509	その他	Z006468002	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	二重管工法 土質:砂質土N<30	m	市内共通	指定	5,920	5,920	5,920								
510	その他	Z006468003	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	二重管工法 土質:砂質土N>30	m	市内共通	指定	1,940	1,940	1,940								
511	その他	Z006468004	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	二重管工法 土質:砂質土N>30	m	市内共通	指定	2,490	2,490	2,490								
512	その他	Z006468005	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	二重管工法 土質:粘性土	m	市内共通	指定	1,420	1,420	1,420								
513	その他	Z006468006	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	三重管工法 土質:砂質土	m	市内共通	指定	5,990	5,990	5,990								
514	その他	Z006468007	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	三重管工法 土質:砂質土N<50	m	市内共通	指定	2,610	2,610	2,610								
515	その他	Z006468008	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	三重管工法 土質:砂質土N>50	m	市内共通	指定	3,130	3,130	3,130								
516	その他	Z006468009	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	三重管工法 土質:粘性土	m	市内共通	指定	1,810	1,810	1,810								
517	その他	Z006468010	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	単管工法 土質:砂質土	m	市内共通	指定	338	338	338								
518	その他	Z006468011	高圧噴射攪拌 削孔損耗費	単管工法 土質:粘性土	m	市内共通	指定	252	252	252								
519	その他	Z006468001	高圧噴射攪拌 注入損耗費	単管工法	m3	市内共通	指定	5,860	5,860	5,860								
520	その他	Z006468002	高圧噴射攪拌 注入損耗費	二重管工法	m3	市内共通	指定	6,400	6,400	6,400								
521	その他	Z006468003	高圧噴射攪拌 注入損耗費	三重管工法	m3	市内共通	指定	6,490	6,490	6,490								
522	その他	Z006740007	繰施工費	VII型	個所	市内共通	指定	8,290	8,290	8,380								
523	その他	Z006740008	繰施工費	10H型(ノット)	個所	市内共通	指定	12,000	12,000	12,300								
524	その他	Z006740009	繰施工費	25H型(ノット)	個所	市内共通	指定	12,800	12,800	13,100								
525	その他	Z006740011	繰施工費	H250	個所	市内共通	指定	17,500	17,500	19,500								
526	その他	Z006740012	繰施工費	H300	個所	市内共通	指定	22,900	22,900	25,200								
527	その他	Z006740013	繰施工費	H350	個所	市内共通	指定	28,400	28,400	31,400								
528	その他	Z006740014	繰施工費	H400	個所	市内共通	指定	41,200	41,200	45,800								
529	その他	Z006890001	システム初期費	ブルドーザ	式	市内共通	指定	548,000	548,000	548,000								現場管理費、一般管理費等のみ
530	その他	Z006890002	システム初期費	バックホウ	式	市内共通	指定	598,000	598,000	598,000								現場管理費、一般管理費等のみ
531	その他	Z006890003	システム初期費	モーターグレーダ	式	市内共通	指定	623,000	623,000	623,000								現場管理費、一般管理費等のみ

注意事項1

機械損料等	仮設材賃料	山留主部材の副部材について	副部材(A)に係る賃料計上限度額(1現場当り修理費及び損耗費を含む。)は、基礎価格の90%とする。
		1現場当り修理費及び損耗費	副部材に係る賃料(1現場当り修理費及び損耗費を含む。)の補正は、建設用仮設材損料算定基準(平成17年3月24日付け国総施第139号)及び建設用仮設材賃料積算基準(令和2年2月17日付け国総施第91号)に準じる。 修理費及び損耗費は、整備費、特別ケレン、穴埋め、曲がり直し等の修理費、切断による短尺補償、打込みによる破損を含む。 修理費及び損耗費は、土質、打込み又は引抜きの難易等の作業条件を十分考慮して適用作業区分を決定する。
その他単価	委託業務単価	地盤情報データベース検定費(資格有)	ボーリング責任者:地質調査技士 かつ 管理技術者又は主任技術者:地質調査技士、技術士、RCCM等の資格を有しているものとする。
		地盤情報データベース検定費(資格無)	上記以外の場合
	機械損料等		
	タイヤ損耗費		
	基本運賃		仮設材等の運搬に係る基本運賃。適用にあたっては土木工事標準積算基準書によること。